

四国中央市誌編さん業務企画提案実施要領

1. 目的

本実施要領は、四国中央市（以下「市」という。）が行う四国中央市誌編さん業務を委託する事業者を、公募型プロポーザル方式により選定することについて、必要な事項を定めるものである。

2. 業務概要

(1) 業務名

四国中央市誌編さん業務（以下「本業務」という。）

(2) 事業内容

業務内容については、別紙「四国中央市誌編さん業務仕様書（以下「仕様書」という。）」のとおりとする。

(3) 履行期間

契約締結日の翌日から令和10年9月29日（金）まで

(4) 提案上限額

一金38,376,500円（消費税及び地方消費税相当額（以下「消費税等」という。）を含む）令和7年度から令和10年度までの間、事業の進捗に応じて契約額を上限として支払う。ただし、令和7年度の委託料の支払い上限額は1,600,000円（消費税等を含む）とする。

3. 選定方式

参加資格要件の確認による第1次審査を事務局にて行い、第2次審査として企画提案書等の提出を求め、四国中央市誌編さん業務受託者選定委員会（以下「委員会」という。）において、プレゼンテーション・ヒアリング審査を実施し、提案内容を評価する公募型プロポーザル方式（以下「プロポーザル」という。）によって、優先交渉権者を選定する。

4. 事務局

四国中央市 総務部 総務調整課 市史編さん室

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号

電話 0896-28-6002 ファクス 0896-28-6056

Eメール somu@city.shikokuchuo.ehime.jp

5. 参加資格要件

本企画提案に参加できる者は、以下の全ての条件を満たす者とする。

- (1) 令和7・8年度四国中央市建設工事等入札参加資格審査申請書（業務委託）を提出している者又は令和7年9月26日（金）までに提出する者であり、参加表明書の提出期限までに、入札参加有資格業者名簿に登録されている者であること。
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定のいずれにも該当していないこと。
- (3) 参加表明書の提出期限の日から契約締結の日までの間において、四国中央市建設工事等入札参加資格停止措置要綱（平成16年四国中央市告示第35号）に基づく入札参加資格停止措置を受けている者でないこと。

- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）の規定に基づき、更正手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (5) 民事再生法（平成11年法律第225号）の規定に基づき、再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (6) 四国中央市暴力団排除条例（平成23年条例第30号）第2条第1号に規定する暴力団、同条第3号に規定する暴力団員等である役職員を有する団体又はそれらの利益となる活動を行う者でないこと。
- (7) 個人情報保護のために必要な措置を講じていること。
- (8) 自治体史や社史、学校史など団体の歴史や実績を記録した書籍の編さん業務の実績を有すること。

6. 参加資格要件確認基準日

市が参加表明書を受理した日から、優先交渉権者と業務委託契約を締結するまでの間とする。

7. 選定スケジュール

本業務に係るスケジュールは以下のとおりとする。

内 容	時 期
公募開始	令和7年9月17日（水）
質問書の提出期限	令和7年9月22日（月） 17時必着
質問書の回答日	令和7年9月26日（金）
入札参加資格審査申請書の提出期限 （未提出の場合）	令和7年9月26日（金）
参加表明書等（第1次審査）の提出期限	令和7年10月1日（水） 17時必着
第1次審査結果通知日	令和7年10月6日（月）
企画提案書等（第2次審査）の提出期限	令和7年10月16日（木） 17時必着
第2次審査（プレゼンテーション）の実施日	令和7年10月下旬
第2次審査結果通知日	令和7年10月下旬
契約締結日	令和7年11月上旬

8. 質問の受付及び回答

本プロポーザルの実施要領及び仕様書等の内容に関する質疑については、次に掲げる方法で行うこと。

- (1) 提出書類
質問書（様式4）によること
- (2) 提出方法
電子メールにて送信すること
- (3) 受付期限
令和7年9月22日（月）17時まで（必着）
- (4) 提出先
Eメール：somu@city.shikokuchuo.ehime.jp

(5) 質問への回答方法及び公表

質問に対する回答は、質問者に電子メールで回答する。また、全ての質問について令和7年9月26日（金）17時までに市ホームページで公表する。なお、公平を保てない可能性がある質問については回答しないことがある。

9. 参加表明書等の書類提出

(1) 提出期限

令和7年10月1日（水）17時必着（提出が遅れた場合は、参加を認めない。）

(2) 提出先

「4. 事務局」まで

(3) 提出方法

持参、書留郵便又は民間事業者による信書の送達に関する法律（平成14年法律第99号）第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者による同条第2項に規定する信書便（以下「信書便」という。）により提出すること。

次の（4）の提出書類を一つの封筒に入れて提出すること。

なお、封筒の宛名面には、「四国中央市誌編さん業務参加表明書」と記載すること。

(4) 提出書類

以下の様式等については、別添様式を利用すること。なお、様式については、市公式ホームページに掲載するので、各提案者はダウンロードし、必要事項を記入して提出すること。

- ① 参加表明書（様式1） 1部
- ② 会社概要（様式2） 1部
- ③ 業務実績確認書（様式3） 1部
- ④ 会社の概要が分かるパンフレット等

10. 第1次審査の実施

(1) 参加表明に関する提出書類の内容について、事務局による書類審査を実施し、参加資格要件等を審査する。

(2) 参加表明をした者の数が5者を超える場合は、第2次審査の対象者として、委員会において5者選定する。

11. 第1次審査結果の通知

(1) 通知日

令和7年10月6日（月）

(2) 通知方法

審査結果は、参加表明者に対して、参加表明書に記載されたメールアドレス宛に審査結果通知書を電子メールにて送信する。なお、審査合格者には、次の事項を併せて通知する。

- ① 企画提案書で使用する提案者記号（例：A社、B社、C社、…等）については、事務局が決定する。
- ② 第2次審査の日時、会場等

12. 企画提案書等の提出

(1) 企画提案書及び価格提案書の提出期限

令和7年10月16日（木）17時必着（提出が遅れた場合は参加を認めない。）

（2）提出先

「4. 事務局」まで

（3）提出方法

持参、書留郵便又は信書便により提出すること。

（4）提出書類及び提出部数

① 企画提案書 紙媒体11部及び電子媒体（CD-RまたはDVD-R） 1部

ア 企画提案書表紙（様式5）

イ 企画提案書（任意様式）

② 業務管理予定体制書（様式6） 1部

③ 企画提案誓約書（様式7） 1部

④ 価格提案書（様式8） 1部

ア 価格提案書には、会社名、代表者役職、代表者名を記載のうえ、代表者印を押印すること

イ 提案金額は、契約希望金額の110分の100に相当する金額を記載すること

ウ 価格提案書には、提案価格の根拠となる見積内訳書を添付すること。様式は任意とするが、仕様書に記載の業務の内容に応じて記載すること

エ 価格提案書は封入及び封緘すること。封入封緘方法は様式8別紙を参照のこと

13. 企画提案書の記載内容及び作成方法

（1）企画提案書の記載内容

提案者は、四国中央市誌編さん業務仕様書に基づき、次の項目について企画提案書を作成すること。

なお、提出書類によりプレゼンテーションを行うこととするため、その旨に留意して資料作成すること。

① 業務遂行能力及び実施体制について

業務のスケジュール及び実施体制を記載すること

② 企画提案

ア 実施方針

仕様書に定める業務の目的・内容を踏まえ、業務が円滑に遂行できるよう、共通事項及び「四国中央市発足20周年記念誌（仮称）」（以下「記念誌」という）並びに「四国中央市の歩み（仮称）」（以下「行政誌」という）について、実施内容、手法、体制などに関して提案すること。

イ 共通事項

業務体制について、業務実施責任者及び実務担当者など本業務の実施体制編成の考え方及び特色について記載すること。また、専門的な知見やアドバイザー等の役割を明確化し提案すること。

作業スケジュール（任意様式）について、作業工程に無理がなく、実現の可能性があるものを記載すること。関係者との連携が十分に図れるスケジュールになっているかなどを明確化し提案すること。

ウ 記念誌及び行政誌について

記念誌については、基本方針・業務の内容に沿って、仕上がりイメージが分かるものを作成すること。思わず手に取って読みたくなるような独自のデザイン及び

企画提案を含めること。

行政誌については、基本方針・業務の内容に沿って、企画・デザイン提案、資料の収集・整理・調査、執筆・内容確認体制、編集・校正体制について、具体的かつ的確な提案をすること。

特に、市と連携して、行政誌の編さんを進める場合の基本的な考え方を記載し、執筆・内容確認に関しては、原稿執筆の実績を有する執筆者（ライター）の確保、執筆内容のチェック体制などについて、提案すること。

③ 独自提案

仕様書の記載事項に加えて独自提案がある場合はその内容を記載すること

（２）企画提案書作成に係る留意事項

- ① プロポーザルでは、最適な受注者を選定するために必要な企画提案を求めるものであり、具体的な数値や根拠等を求めるものではない。
- ② A４判サイズとし、縦横は任意とする。A３判も可とするが、A４サイズに折り込むこと。ページ数は表紙、目次を含めて20ページ以内（A３判は片面につき2ページとカウントする。）にまとめ、ページ番号を付しておく。
- ③ 提案書の各書類には、提案者の氏名等を表記せず、当市が指定する標記（例：A社、B社、C社、…等）を使用すること。
- ④ 企画提案書の専門用語等については、一般用語を用いて脚注を付記するなど、職員が理解しやすいものとする。審査を担当する職員が理解できない内容については、採点されない場合があることに留意すること。
- ⑤ 企画提案書は文章、図表などで簡潔かつ明瞭に記載することとし、多色刷り、両面印刷を可とする。

14. 第2次審査（プレゼンテーション等）の実施

（１）開催日時

令和7年10月下旬 予定

※ 開始時間及び会場等詳細は、別途電子メールにより通知する。

※ リモートでの実施とすることがある。

（２）基本的な考え方

- ① 受託者の選定については、「別紙1 評価基準表」（1）から（14）までの各項目において評価することとする。なお、参加表明書の提出が1者のみであっても審査を行い、事務局が求める目的に添ったものであると判断した場合においては、その者を優先交渉権者とする。
- ② 提出書類等は、本業務を受託する者を選定するための資料であり、そこに盛り込まれた内容全てが実際の契約条件になるとは限らない。本業務を進めるにあたり、市と優先交渉権者との協議により提案の内容を変更することがある。ただし、公平性の観点から、価格評価を行った場合においては、原則、契約時点で提案価格を増額することはできないものとする。
- ③ 市は、委員会において選定された優先交渉権者と業務委託契約の締結交渉を行う。なお、優先交渉権者と協議が整わなかった場合、次点交渉権者と業務委託契約の締結交渉を行い、交渉が成立した者を受託者とする。

（３）実施方法

企画提案書に基づき、提案者のプレゼンテーションを受け、選定委員が審査を行うものとする。審査は、提案者名を公表せず、以下のとおり行うことを予定している。

- ① プレゼンテーションは、1 者ごとの呼び込み方式とし、持ち時間は 40 分程度とする。（1 者につき説明 20 分以内、質疑 20 分程度）
- ② 提出した企画提案書に沿ってプレゼンテーションを行うこととし、当日の追加資料配布などは認めない。ただし、パソコン・プロジェクターによるプレゼンテーションは許可する。この場合、パソコンは提案者が用意し、プロジェクター、スクリーン、コード類（HDMI to HDMI のみ）は市が用意するものとする。
- ③ 提案者の出席は 5 名以内とする。なお、本業務に携わる者を 1 名以上含めることとする。
- ④ 実施の順番は、当市における責任抽選により決定するものとする。（抽選結果については、企画提案書の書類提出期限以降にメールにて通知する。）
- ⑤ 開始時間、会場等詳細は、別途連絡する。

（4）選定基準

受託者の決定にあたっては、「別紙 1 評価基準表」の合計点が最も高い者を優先交渉権者として選定する。また、次点交渉権者も併せて選定する。同点の者があった場合は、評価項目 7 から 10 までの合計点数が高い者を上位とし、それでも選定できないときは、委員会の協議により決定する。

なお、価格評価点については、提出があった提案価格のうち最低価格を基準価格とし、次に示す計算式に基づき算出するものとする。

価格評価点 = (基準価格 ÷ 貴社提案価格) × 10 点
小数点以下切り捨てとする。

15. 第 2 次審査結果の通知

（1）通知日

令和 7 年 10 月下旬予定

（2）通知方法

優先交渉権者及び次点交渉権者にのみ文書にて通知する。また、審査結果を市ホームページで公表する。

選定結果については、令和 7 年 11 月上旬頃に全ての参加事業者にも文書で通知するとともに、市ホームページに掲載する。

16. 業務委託契約

（1）契約形態

優先交渉権者と交渉が成立した場合に業務委託契約を締結することとする。

（2）契約方法

地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 2 号に基づき随意契約とする。

（3）契約金額

提案上限額以内で、原則、価格提案書により提案があった金額とする。

（4）費用の支払い

委託料の支払いは、各年度 1 回払いを予定し、報告書（作業進行状況について月ごとに書面で市に翌月 15 日までに報告する）及び「工程表（作業スケジュール）」で定めた工程が着実に実行されていることを示すデータ・原稿等を確認し、検査後に、受託者の請求に基

づき支払うものとする。

なお、令和10年度については、完了検査後に支払うものとする。

(5) 契約保証金

四国中央市契約規則（平成 16 年規則第 50 号）第 43 条の規定により、契約金額の100分の 10 に相当する額以上を契約保証金として納付すること。ただし、同規則第 45 条の規定に該当する場合は、契約保証金を免除する。

(6) その他

交渉権者の決定後、契約の締結までの間において、交渉権者が「5. 参加資格要件」に定める要件のいずれかを満たさなくなった場合には、当該業務委託契約を締結しないことがある。

17. 提案者の失格要件

- (1) 本要領等に示した参加に必要な資格を有しない者が行った提案
- (2) 参加表明者以外の者が行った提案
- (3) 提出書類に虚偽の記載を行った場合
- (4) 提出書類が提出期限までに提出されなかった場合
- (5) 価格提案書記載の提案価格が提案上限額を超えた場合
- (6) 複数の企画提案書を提出した場合
- (7) 審査の公平性を害する行為があった場合
- (8) その他、委員会が不適格と認めた場合

18. その他留意事項

- (1) 本企画提案等に要する費用は、すべて企画提案者の負担とし、提出された書類は返却しない。
- (2) 企画提案書の著作権は、当該企画提案書を作成した者に帰属するものとする。市は、プロポーザル方式の手續及びこれに係る事務処理において必要があるときは、提出された企画提案書の全部又は一部の複製等を行うことができるものとする。
- (3) 受付期間終了後の企画提案書等の修正及び変更は基本的に認めない。ただし、誤字・脱字などの軽微な修正についてはこの限りではない。
- (4) 本企画提案に係る情報公開請求があった場合は、四国中央市情報公開条例（平成16年条例第15号）に基づき、提出書類を公開する場合がある。
- (5) 提出書類は日本語を用いることとし、通貨は日本円とする。
- (6) 提出書類の様式については、別紙「様式集」のとおりとする。
- (7) 企画提案書等の提出された書類に関して、事務局より電話での問合せ、追加資料等の提出を求められた場合は、速やかに回答すること。
- (8) 価格提案書の開封は、本業務に関係のない職員立会いのもと事務局において行うものとする。
- (9) この実施要領に定めのない事項については、四国中央市契約規則に定めるところによる。

別紙 1

【評価基準表】

評価は各項目 5 点満点で採点し（評価項目14を除く）、係数を乗じた配点とします。

評価項目		評価基準	評価点	係数	配点
(A) 事業者の評価					
1	業務実績	過去に同種または類似業務の実績はあるか		× 2	10
2	技術者等	業務実施責任者及び実務担当者が、過去に同種または類似業務の実績はあるか			5
3	個人情報の保護	プライバシーマークまたは I S M S などのセキュリティ認証を受けている			5
(B) 提案内容の評価					
共通事項					
4	業務体制	業務を円滑に遂行できる人員体制となっているか			5
5	作業スケジュール	作業工程に無理がなく、実現の可能性が高く、関係者等との連携が十分に図れるスケジュールとなっているか			5
記念誌 四国中央市発足 20 周年記念誌（仮称）					
6	仕上がりイメージ	基本方針及び業務内容に沿って、思わず手に取って読みたくなるようなデザイン、企画になっているか		× 3	15
行政誌 四国中央市の歩み（仮称）					
7	企画・デザイン提案	基本方針及び業務内容に沿って、実現方法が明確で、企画・デザイン等の提案がわかりやすく工夫されているか		× 2	10
8	資料の収集・整理・調査等	資料の適正な収集、整理や分析、調査等について具体的かつ的確な提案がされているか			5
9	執筆・内容確認体制	原稿執筆の実績を有する執筆者を確保しており、執筆した内容のチェック体制が整っているか		× 2	10
10	編集・校正体制	精通した目で原稿をチェックし、校正体制が整っており、万全な校正を遂行するためのノウハウを有すると認められるか			5
プレゼンテーション					
11	取組姿勢	提案に説得力があり、業務に対する意欲や熱意が感じられるか			5
12	自由提案	上記の他、目的を達成するため、特筆すべき独自の提案があるか			5
13	コミュニケーション能力	質疑等への応答が適切か			5
業務費用					
14	業務費用	最低提案価格を基準価格とし、点数を配分する 評価点 = (基準価格 ÷ 自社提案価格) × 10 小数点以下切り捨てとする		× 10	10
評価点合計		A (20) + B (80)			100